

医療・福祉施設に従事する修了生が増えてきた臨床宗教師に、継続研修による資格認定を行う「日本臨床宗教師会」が2月末に発足する。事務局を置く東北大など8大学が共通の基準を設けるなどの目的で連携するほか、臨床宗教師の地方部会とも協力しながら修了後の力量水準の保持につなげる。

会長には、島蘭進・上智大教授が就任する。東北大の谷山洋三准教授が事務局長を務める。すでに

に養成を始めている龍谷大、鶴見大、高野山大、今年開講する種智院大、武蔵野大のほか、上智大、愛知学院大と連携する。

資格認定により倫理綱領の順守も徹底させる。全国に6つある臨床宗教師地方部会（北海道東北、関東、中部、関西、中国、九州）では、勉強

谷山准教授は、「医療や福祉の現場でニーズが高まっている。修了生が150人を超え、共通の基準も必要になってきた。修了後に学びの機会を持つことが最も大切。大学間でも情報共有を進め、お互いにフラッシュアップしていかなくてはいい」と話した。

日本臨床宗教師会の設立を記念して、京都市下京区の龍谷大大宮学舎で2月28日、シンポジウムが開かれる。テーマは「臨床宗教教育の可能性」、

日本臨床宗教師会が発足

継続研修で資格更新制へ

2012年4月に養成講座を開講した東北大は、126人の臨床宗教師を輩出。約3分の1が医療・福祉施設に従事している。14年4月に養成

ン策定を計画する。大学の養成プログラムを終えた修了生は、日本臨床宗教師会に入会。継続研修を受け、5年ごとの資格更新が検討されている。

会やフォローアップ研修が行われている。修了後の各地域での学びの場であり、実践のためのネットワークとしての役割を担う。

日本臨床宗教師会の設立を記念して、京都市下京区の龍谷大大宮学舎で2月28日、シンポジウムが開かれる。テーマは「臨床宗教教育の可能性」、